Miyake Medical Institute Group
一般財団法人三宅医学研究所

広報誌

みやけ通信

vol. 79 2024.01

特集｜ 年頭のご挨拶
〈一般財団法人 三宅医学研究所　代表理事　三宅信一郎〉
高松市天神前に医療モールが誕生〈法人事務局〉
連載 vol.41 サラマンダーをのぞいてみよう！〈健康増進施設サラマンダー〉
通所リハビリってどんなトコロ？〈通所事業課〉
一緒にリハビリテーションしませんか？〈生活期リハビリテーション課〉

年頭のご挨拶

一般財団法人三宅医学研究所
代表理事　　三宅　信一郎

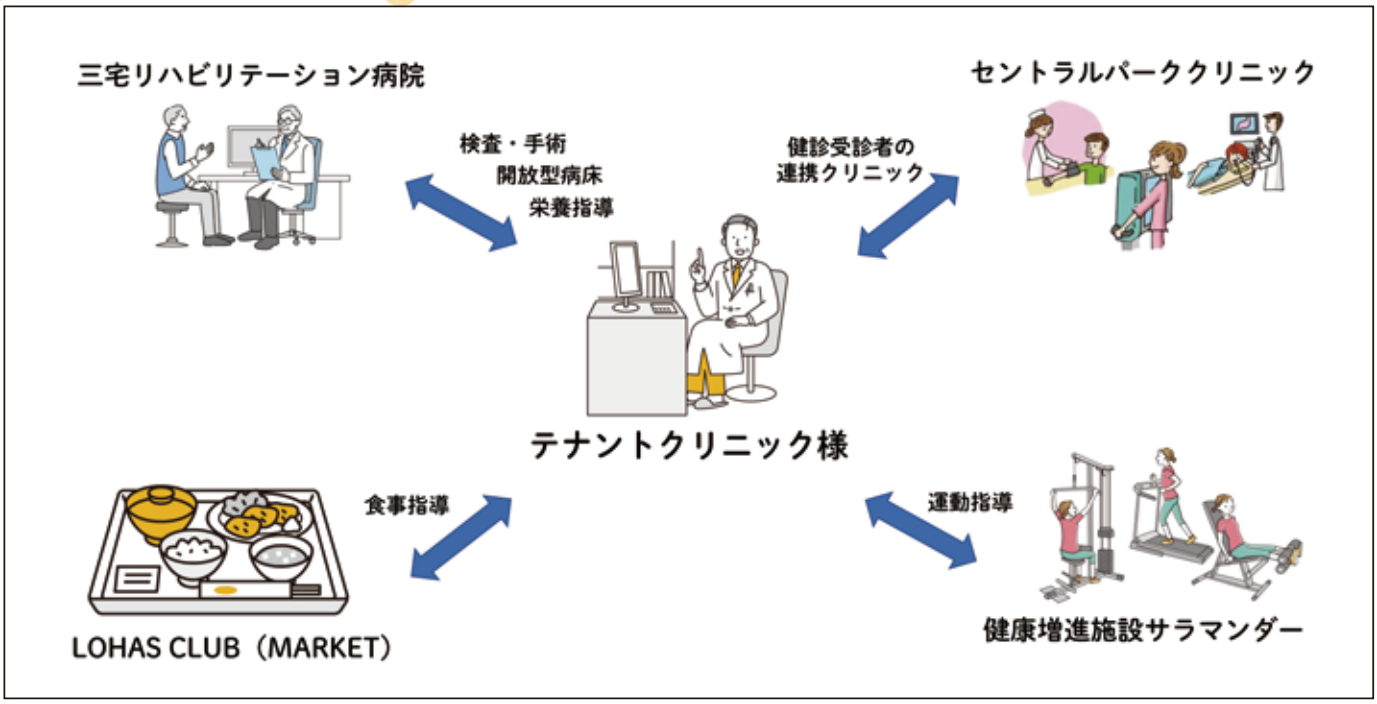
2024年元旦　屋島山頂にて

新年明けましておめでとうございます。
皆様それぞれにいろんな思いを胸に、新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。
令和6年の幕が上がりましたが、元旦夕刻に能登半島付近を震源とするM7.6の大地震と大津波が発生しました。被害は甚大であり、今尚余震が続いており、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。
昨年5月から新型コロナ感染症の感染症法上での位置づけが、2類相当から5類へと変更されました。
その後、各種の小児感染症が流行し、11月からはインフルエンザが猛威を振っています。しかし、新型コロナも年明けからじわじわと感染が拡がっており油断はできません。感染症に対しては、基本的な予防対策をしっかり習慣化させ、前向きにワクチン接種検討をお勧めします。
さて、私たちは30年前よりリハビリテーションを提供してまいりましたが満足に栄養摂取ができていない状態にも関わらず、「リハビリを頑張りましょう」と声かけをしておりました。それは、ガソリンがほとんど入っていない車で旅行に出掛けようとするのと同じで、患者さんにとってはリスクでしかありません。フレイルを予防し、身体の回復力を最大限に高めるためには、食事摂取量や栄養状態に見合った運動やリハビリを提供すること、また栄養状態をより高める施策を講じていく事こそが大切です。私たちは患者様がより豊かに、より幸せに過ごすためのサポートができるよう、食と運動に関する正しい知識を身につけて実践していくために三宅リハビリテーション病院も入院患者様に10年ほど前より選択メニューを導入し摂食率を上げより患者様の回復のサポートをしてまいりました。
しかし、ここ数年の異常な物価高騰や光熱費等の管理費高騰によりなかなか思うようなサポートが困難となってまいりました。数年前より更なる食事栄養管理サービス提供、フードロス削減を実行していくための研究を行い最新の急速冷凍技術を活用し患者様の栄養管理を実現するためにセントラルキッチンを建築しております。
入院患者様のみではなく在宅患者様の栄養管理体制も構築中であります。
本年秋にはすべての体制が完成する予定ですのでもうしばらくお待ちいただければと思います。
私どものグループの理念である「患者様の1日も早い社会復帰に向けて最大のサービスを提供し、予防医学から健診業務、治療、健康維持増進を担ったトータルケアサービスで地域の皆様に貢献します。」を皆様に満足していただけるよう更に推進してまいります。職員一人一人がその責任を自覚し、地域医療に貢献できるよう努めますので、今後ともどうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
今年が皆様にとって健康で明るい年であることを御祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。

高松市天神前に医療モールが誕生

当法人では、2003 年に高松メディカルモールを設立し、現在、診療科が異なる複数のクリニック（形成外科･心療内科･歯科･麻酔科･消化器科）が 1 ヶ所に集まって地域の医療を支えていただいています。
今回新たに、高松メディカルモールに隣接したビルを 2024 年冬に竣工予定であり、新築物件で 6 階建てのうちの 4 階・5 階にクリニックを募集しております。特に地域の皆様からは、『糖尿病に特化した内科』『小児科』『循環器内科』などの診療科を希望する声を多数いただいております。
当法人の三宅リハビリテーション病院の機器、開放病床の利用やセントラルパーククリニックとの病診連携が可能な立地となっており、開業直後の立ち上がりも順調に推移する事が予想されます。

当法人との連携イメージ



各フロア紹介

- RF　屋上菜園
- 6F　事務所
- 5F　総合診療クリニック
- 4F　総合診療クリニック
- 3F　保育所てふてふ
- 2F　LOHAS KITCHEN（セントラルキッチン）
- 1F　LOHAS CLUB（Healthy Market & Cafe）

関心のある方は、こちらにお問い合わせください
TEL087-831-2101
経営企画部（宮﨑・岩崎）まで

▲詳細はこちら

健康増進施設サラマンダー

サラマンダー
をのぞいてみよう！

Vol.41

加圧トレーニングのすすめ

YouTube

『加圧トレーニング紹介動画』

動画視聴はコチラから↑

見学・体験からでもOK!!

新規会員募集中！！

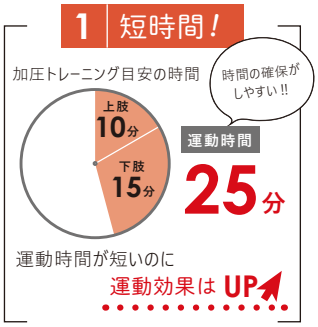
087-863-3377

までお気軽にお電話ください。（要予約）

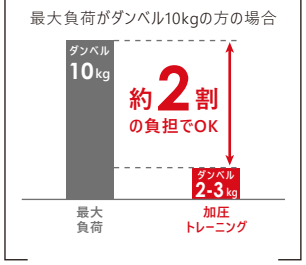
加圧トレーニングとは、発明者佐藤義昭が５０年以上にわたり研究を重ね生み出されたメソッドで、血流を制限した状態で行うトレーニング法です。

加圧トレーニングの3つの特徴

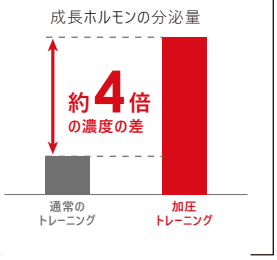
1 短時間！



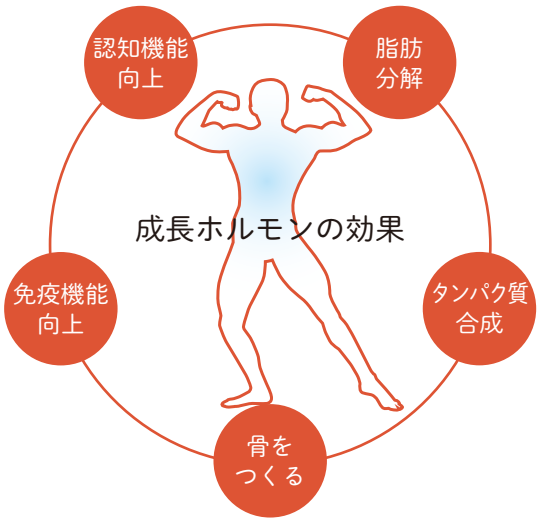
2 低負荷！



3 高効率！



成長ホルモンの５つの効果



成長ホルモンには筋肉と骨の成長促進、脂肪分解作用、免疫機能改善、認知機能改善効果があります。
加圧トレーニングによって安静時の約290倍分泌された成長ホルモンが血流にのって全身に行き渡るため、血流を制限した部位だけでなく全身に影響を及ぼします。

加圧トレーニングの２つのプラン

PERSONAL

専門トレーナーによる
マンツーマン指導

専門スタッフが加圧トレーニングに加え、身体状況に応じたサポートと支援を行います。

◆45分コース　5,500円/回
◆60分コース　7,150円/回　他

SELF

自分のタイミングで
トレーニング

初回はスタッフが運動指導を行います。
1日30分のトレーニングを週2回、90日間行うプログラムです。

◆90日コース　5,500円

通所リハビリってどんなトコロ？

あなたの周りの方に該当する項目はありませんか？

□食欲がなくなった
□好き嫌いが多い
□欠食をすることがある
□体重が減ってきた
□硬いものが噛みにくい
□飲み込むときにムセることがある
□風邪を引きやすくなった
□下痢や便秘が続いている
□疲れやすくなった
□運動量が減った

該当する項目が多いほど、低栄養の可能性が高くなります。

外見や生活動作から低栄養を発見できることもありますのでセルフチェックをしてみましょう。

当法人では、管理栄養士等の職員が共同してご利用者様の食生活や栄養面のサポートを行っております。
昨年より法人の通所リハビリにて「栄養アセスメント」を開始しました。栄養アセスメントは、通所利用開始時にご利用者様の低栄養のリスクなどを把握し、適切な栄養改善サービスに繋げていくことを目的としています。

栄養改善サービス対象者の例

・過去6か月の間で3%以上の体重減少がある方
・食事摂取量が不良（普段の75%以下）の方
・血清アルブミン値が3.5g/dl以下の方
・BMIが18.5未満の方
・その他、低栄養状態にある、
　またはそのおそれがあると認められた方

栄養相談の様子→

お一人お一人の生活に合った栄養指導を行うように心掛けています。お食事の事でお困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

生活期リハビリテーション課　管理栄養士

一緒にリハビリテーションしませんか?

生活期リハビリテーション課　訪問リハビリテーション　理学療法士　山崎瑞樹

ご自宅での生活で困っていることはありませんか?
訪問リハビリテーションを利用する主な目的として「自立支援」があります。私たちは利用者様の「これができるようになりたい」という目標をかなえるために身体機能の強化をサポートしています。それに加えて、居宅介護支援専門員を中心に訪問看護や訪問介護など他サービス事業者と連携をとり環境整備を行い、利用者様ご自身の「できること」を増やすお手伝いをしています。

事例の紹介

Case 1

「ボタンを留められるようになりたい」

指先の細かい動きが難しい利用者様に対し、ボタンエイド(ボタンかけ補助具)を作成したことで自分で留め外しができるようになりました。

Case 2

「認知症を予防したい」

考えながら手を動かすことで脳に刺激を与え、身体機能面だけではなく認知面に対しても効果的な自主トレーニングを指導し、実行していただきました。

Case 3

「タクシーの乗り降りがしづらい」

実際の車両を使って乗降練習を行いました。併せて安全な乗降動作と介助のポイントが写真付きで書かれた手順書を作成し、タクシー会社と共有することで安全に利用することができました。

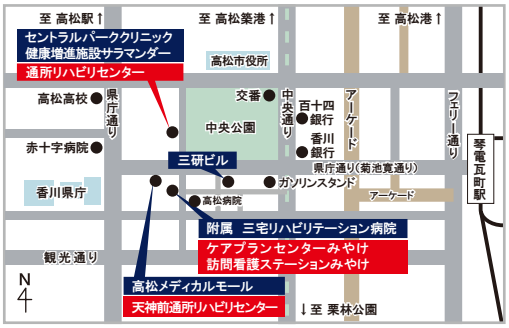
訪問リハビリテーションの対象となる方

①要支援1・2、要介護1～5に認定されている、もしくは申請中の方
②主治医が訪問リハビリテーションを必要であると認めた方
③高松市内在住の方
④当院医師の診察を受けられる方
※介護保険の対象とならない方は、医療保険での訪問が可能な場合があります。

訪問リハビリテーションの利用をご希望の方はかかりつけ医にご相談の上、当院へご連絡下さい。

お問い合わせ:三宅リハビリテーション病院
訪問リハビリテーション
TEL 087-831-2103
(内線1205)

Miyake Medical Institute Group
みやけ通信
企画・発行
一般財団法人 三宅医学研究所　広報委員会
〒760-0018 高松市天神前5-5
TEL：087-831-2101 FAX：087-835-1886
MAIL：zaidan@miyake.or.jp

home page　病院 facebook　セントラル facebook　てふてふ facebook　YouTube

一般財団法人三宅医学研究所
○三宅リハビリテーション病院
○セントラルパーククリニック
○健康増進施設サラマンダー
○ケアプランセンターみやけ
○訪問看護ステーションみやけ
○保育所てふてふ